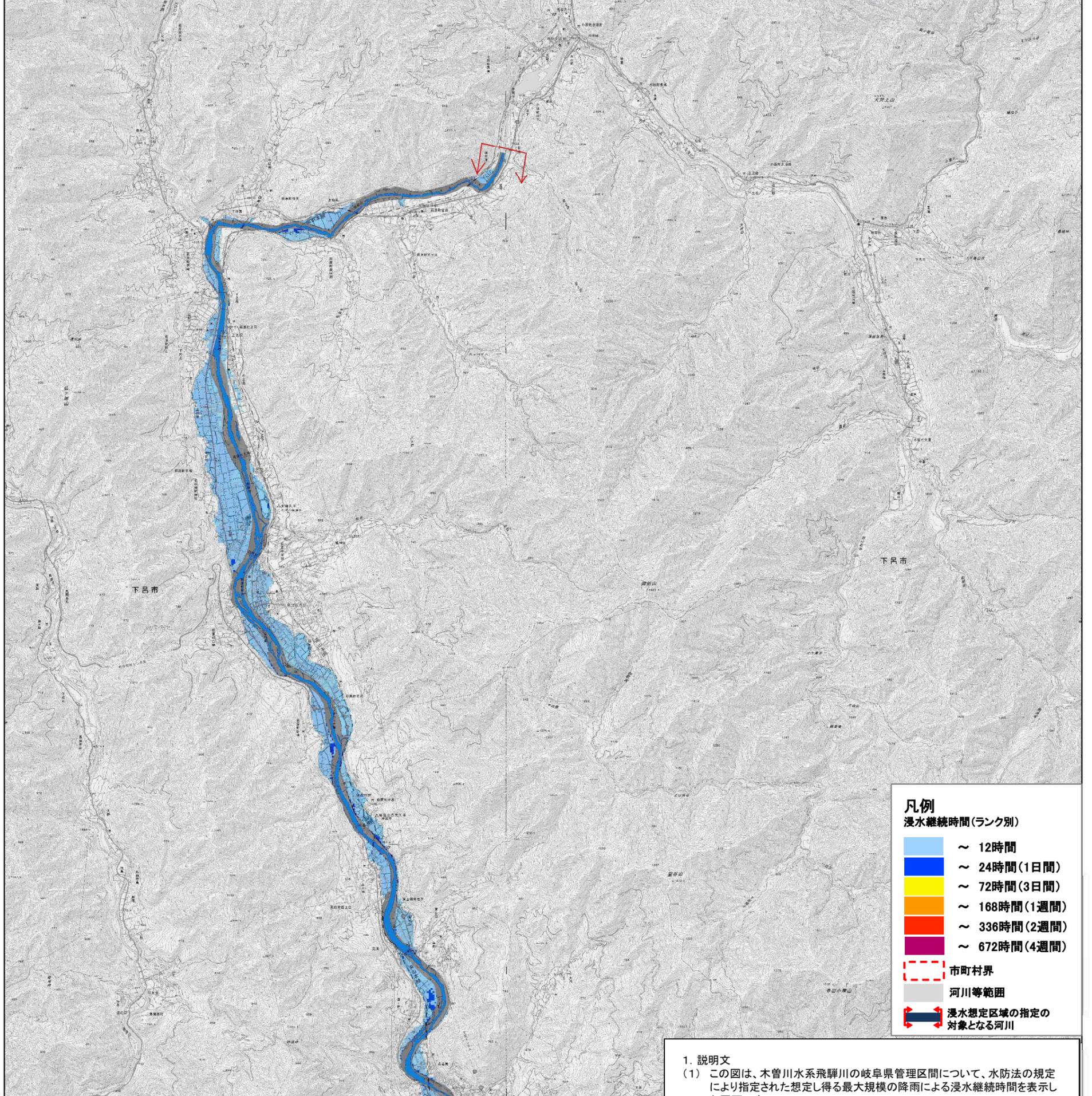


木曽川水系飛騨川 洪水浸水想定区域図 [浸水継続時間 (想定最大規模)]



凡例
浸水継続時間(ランク別)

	～ 12時間
	～ 24時間(1日間)
	～ 72時間(3日間)
	～ 168時間(1週間)
	～ 336時間(2週間)
	～ 672時間(4週間)

市町村界
 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる河川

- 1. 説明文**
- この図は、木曽川水系飛騨川の岐阜県管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による浸水継続時間を表示した図面です。
 - この浸水継続時間は、指定時点の飛騨川の河道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により飛騨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、各シミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2. 基本事項等**
- 作成主体 岐阜県下呂土木事務所
 - 指定年月日・告示番号(洪水予報区間) 平成30年12月14日・岐阜県告示第621号
 - 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第3項
 - 対象となる河川
 - ・木曽川水系飛騨川 (実施区間)
 - 左岸: 下呂市萩原町宮田地先から下呂市小川地先まで
 - 右岸: 下呂市萩原町大ヶ洞地先から下呂市三原地先まで
 - 指定の前提となる降雨 飛騨川流域の2日間総雨量667mm
 - 関係市町村 下呂市
 - その他計算条件等
 - この図は、木曽川水系飛騨川の(4)に示す区間で破堤等した場合の浸水継続時間を示しています。
 - この図は、飛騨川の(4)に示す区間において、一定の条件で破堤等させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫解析計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割しており、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

位置図

